

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
【産業労働部】 新 重 1 「埼玉発世界行き」 ～脱・内向き～ プロジェクト 関連事業		18,253 〔繰入金 14,000 一財 4,253〕	18,253 〔繰入金 14,000 一財 4,253〕	国際的な視野を持って海外で活躍できる知識と能力を備えたグローバル人材を育成する 1 中小企業若手社員海外研修支援事業 1,090万3千円 海外研究機関等における研修に要する費用を助成 対象者：県内中小企業の40歳未満の若手社員 20人 補助率：対象経費の1/2 (上限50万円) 2 海外インターンシップ促進事業費 735万円 県内企業の海外現地法人等で行うインターンシップに要する費用を助成 対象者：県内在住・在学の大学生20人 補助率：対象経費の1/2 (上限20万円)

【審査の考え方】
日本の国際競争力を高めていくグローバルな視野を持った人材を埼玉から育成する必要性を認め、要求額を措置した。

産業労働部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>新 重 2 次世代自動車産業 支援事業</p>		<p>38,403 (一財 38,403)</p>	<p>38,403 (一財 38,403)</p>	<p>県内中小企業が自動車産業の変化に対応できるよう、次世代自動車支援センター埼玉（仮称）を中小企業振興公社に設置する</p> <p>1 次世代自動車支援センター埼玉（仮称）の設置 3,840万3千円</p> <p>県内中小企業の次世代自動車産業への転換・参入を促進するため、技術セミナーの開催、研究会の運営、販路開拓などの支援を行う</p> <p>< 設置場所 > 新都心ビジネス交流プラザ3階</p> <p>< 手 法 > 自動車メーカーOBなどのアドバイザーを中心としたチームによる支援</p>

【審査の考え方】
県内中小企業の次世代自動車産業への転換・参入を支援する必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
新重 3 生活サポート産業 ネットワークづくり 事業		35,771	35,771	今後需要が見込まれる医療・福祉産業を中心とした生活サポート産業のネットワークを構築する
		繰入金 29,925 一財 5,846	繰入金 29,925 一財 5,846	1 生活サポート産業ネットワークづくり事業 3,577万1千円 (1) 生活サポート産業調査事業(雇用基金事業) 2,992万5千円 医療・福祉分野を中心として、サービス産業の現状の課題や現場のニーズを把握 (2) 戦略会議・プロジェクト委員会の設置・運営 509万6千円 ・ネットワークを統括する戦略会議を設置 ・戦略会議の下にプロジェクトを実施する委員会を設置 ・ネットワークのメンバーから個別プロジェクトを立ち上げ、新サービスなどの開発を行う (3) セミナーの開催 75万円 個別プロジェクトへの参加企業を増やすため、「生活サポート産業」への新規参入を支援するセミナーを実施

【審査の考え方】
サービス産業に対する支援を強化する必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
4 中小企業制度融資 利子補給費	4,048,795 (一財 4,048,795)	3,417,497 (一財 3,417,497)	3,417,497 (一財 3,417,497)	金融機関に利子補給を行い、低利な融資制度を設け、県内 中小企業者の金融の円滑化を促進する 1 新規融資枠分の利子補給 4億9,624万8千円 新規融資枠 4,000億円 うち利子補給あり 2,400億円 2 過年度融資分の利子補給 29億2,124万9千円 <主な変更事項> ○企業成長サポート資金(仮称)の創設 ・融資対象：成長分野進出のために必要な資金 ・融資限度額：2億円 ・融資期間：15年以内 ・利子補給率：0.3% ・融資枠：200億円 ・23～25年度の3年間の時限措置 ○借換資金の要件拡充 ・対象要件の緩和 (売上等の減少について、「見込み」も対象に含む) ・対象資金の拡充(青空再生低公害車導入資金の追加)
(債務負担行為)		限度額 3,767,005 (一財 3,767,005)	承認	24年度から38年度までの利子補給費 37億6,700万5千円

【審査の考え方】
 企業成長サポート資金の創設など中小企業の成長分野への進出を支援するとともに、借換資金の要件を拡充するなど資金繰り対策に万全を期するため、要求額を措置した。
 また、債務負担行為の設定を承認した。

産業労働部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
5 西部地域振興 ふれあい拠点施設 整備事業費	440,854 諸収入 50,330 県債 302,000 一財 88,524	613,716 財収 98,298 諸収入 230,629 県債 192,000 一財 92,789	613,716 財収 98,298 諸収入 230,629 県債 192,000 一財 92,789	産業の振興と地域住民の活動・交流を促進するための 複合拠点施設の整備（川越市との共同事業） 1 事業アドバイザー業務委託 753万9千円 ・民間施設事業者の選定等 2 用地費 2億809万7千円 ・土地開発公社が先行取得した事業用地の買い戻し等 3 施設整備費 3億9,200万円 ・基本設計、詳細設計業務委託 4 その他事務費等 608万円 ・事業者選定審査委員会、事業用地雑草刈払業務等 <施設概要> 所在地：川越市新宿町1丁目地内（土地：約23,700㎡） 県施設 産業支援・人材育成施設（約5,500㎡） （約12,200㎡） 県機関（川越地方庁舎等）（約6,700㎡） 市施設 市民活動支援施設（約5,000㎡） （約13,000㎡） 劇場型ホール（約8,000㎡） <事業手法> 県市施設：請負工事による整備 民間にぎわい施設：民間事業者による整備 <事業計画> H23年度 基本設計・詳細設計 民間施設事業者公募・決定 H24年度 工事着手 H25年度 民間施設オープン ～26年度 県市施設オープン
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【審査の考え方】 県西部地域において地域振興ふれあい拠点施設を 整備する必要性を認め、要求額を措置した。</p> </div>				

産業労働部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
新 重 6 埼玉県Good Job運動 関連事業		13,866 〔諸収入 7 一財 13,859〕	3,852 〔諸収入 7 一財 3,845〕	「働きたい人みんなが働ける埼玉、みんなが安心して長く働ける埼玉」を実現するため、県民運動として「埼玉県Good Job運動」を展開する 1 埼玉県Good Job運動推進事業費 1,001万4千円 → 0 (1) Good Job運動の推進 751万1千円 → 0 ・Good Job運動推進会議の開催 ・Good Job憲章の作成、運動参加企業の登録、シンポジウムの開催等 (2) 「子どもカンパニー」事業 250万3千円 → 0 ・模擬会社の運営を通して、子どもたちが社会の仕組みや、働くことの喜びを知ることができるよう、NPOに事業のマネジメントを委託 ・モデル事業として2地域で実施し、他地域に拡げるための実施マニュアルを作成する

【審査の考え方】
埼玉県Good Job運動推進事業費については、個々の事業を実施する中でその趣旨を実現することが可能であるため、新たな事業化は認めないこととした。
キャリア教育推進事業費については、その充実を図る必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続 き)				<p>2 キャリア教育推進事業費 385万2千円</p> <p>(1) キャリア教育の推進に関する会議の開催 131万4千円</p> <ul style="list-style-type: none">・産業人材育成推進会議のキャリア推進部会を 発展・改組 <p>(2) インターンシッププログラム開発支援事業 240万8千円</p> <ul style="list-style-type: none">・インターンシップの現状を調査・分析するとともに 企業の求めに応じてアドバイザーを派遣・調査対象 100企業・アドバイザー派遣 10企業 <p>(3) ジョブシャドウイングプログラム開発・実施支援 13万円</p> <ul style="list-style-type: none">・受入企業 2社(受入生徒数100人) <p>※ジョブシャドウイング</p> <ul style="list-style-type: none">・働いている人に「影」のように付き添い、仕事の 内容や様子などを観察するキャリア教育の手法・受入企業の負担が少ない割に多くの参加者の受入 が可能・インターンシップと組み合わせ、幅広い業務での 受け入れを可能とする

産業労働部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
新 重 7 就業支援施設関係 経費	109,649	244,846	244,846	新 1 With Youさいたまへの移転経費 2,946万5千円 ヤングキャリアセンター、中高年就職活動支援コーナーを、女性キャリアセンターのあるWith Youさいたまへ移転、集約し、就業支援機能の強化を図る 2 ヤングキャリアセンター埼玉 事業費 5,788万6千円 若年求職者や学生に対してきめ細かな就業支援策を講じ、早期に就業へ結びつける ・新 学生専用の土曜キャリアカウンセリング ・新 新卒応援セミナー・相談会 3 中高年就職活動支援コーナー埼玉 事業費 6,975万5千円 リストラ等で離職を余儀なくされた40代～50代の中高年世代を中心に再就職を支援する ・新 職業紹介機能の付加による就業支援機能強化
	繰入金 19,631 諸収入 65 一財 89,953	繰入金 115,620 諸収入 224 一財 129,002	繰入金 115,620 諸収入 224 一財 129,002	

【審査の考え方】
厳しい雇用情勢に対応し、就業支援を強化するため、各就業支援施設を集約するとともに、機能を強化する必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続 き)				<p>4 埼玉県女性キャリアセンター 事業費 8,774万円</p> <p>就業を希望しているが、子育てとの両立や再就職等に不安を抱える女性の就業を支援する また、新たに職業紹介機能等を導入し、速やかな就業を希望する女性の支援を強化する</p> <p>・新 重すぐに働きたい女性応援プログラム事業</p>

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>新 8 短時間勤務制度導入 促進事業</p>		<p>1,324 (繰入金 1,324)</p>	<p>1,324 (繰入金 1,324)</p>	<p>子育て中の女性が働き続けることができる社会を実現するため、短時間勤務制度の普及を図る</p> <p>1 制度普及に向けた事例分析と課題整理 424千円</p> <ul style="list-style-type: none">・制度を導入した県内企業の先行事例を分析する・経済団体・労働団体と意見交換を行い、制度普及に向けた課題と方策を検討する <p>2 普及啓発の実践 900千円</p> <ul style="list-style-type: none">・県との関わりが深く、波及効果が期待される企業約600社を職員が訪問し、短時間勤務制度の事例紹介、メリットのPRを行う

【審査の考え方】
子育て中の女性が働き続けるために短時間勤務制度の普及を図る必要性を認め、要求額を措置した。